

令和3年5月1日

赤木苑改修・記念モニュメント披露セレモニー校長挨拶

赤木苑改修・記念モニュメント製作について湘友会の皆様方のご尽力に心より感謝いたします。

改修された赤木苑の胸像愛太郎先生がクスノキの大樹の向こうに広がる空を見つめる中、モニュメント「飛翔」が完成し、知性と情熱を兼ね備え、未来の世界に飛び立つ湘南生にふさわしい場所に生まれ変わりました。実際、私は赤木苑から大樹の向こうの空を見るたびに、湘南生一人ひとりが、未来の世界に羽ばたくことをイメージしております。

本校1回生で赤木愛太郎校長のご子息である赤木勝彦氏は本校40周年記念誌に次の文章を残しています。

「各人各様の美点を持っているとの信念からこの天分を啓発することが教育の根本であるということに徹して居りました。」

赤木愛太郎先生が当時から、現代社会で求められている多様性＝ダイバーシティにつながる考えで教育を実践していたということです。

現在、生徒は、この伝統をしっかりと受け継ぎながらも自由で伸びやかな校風の下、「最も困難な道に挑戦せよーAlways do what you are afraid to doー」を合言葉として、「学習活動」、「学校行事」、「部活動」のいずれにも手を抜くことなく全力で取り組んでいます。

平成24年度より湘友会の皆さまの大きな支援を得て、世界を代表する大学での講義や学生との交流を主なプログラムとした海外研修旅行を実施させていただいております。参加した生徒たちは世界という舞台での活躍を夢見て、高いモチベーションを持ってプログラムに参加しています。

残念ながら、昨年度は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響でアメリカ（シカゴ・ニューヨーク）海外研修は中止になりました。

このように、教育活動について、制約がかかっていますが、今年度はできる限りの感染症対策を行うことで実施していく所存です。

4月21日には昨年中止になった陸上記録会を実施し、対組競技・体育祭のスターティングイベントとしても大成功でした。

湘友会、PTA、地域の皆様、そして関係のすべての皆様方のご芳情に感謝申し上げます。そして、今後とも本校に対しまして一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

神奈川県立湘南高等学校 校長 池辺 直孝